

ソグド州シャフリストン郡及びスピタメン郡における 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」引渡し式

10月27、28の両日、相木大使は、タジキスタン北部ソグド州シャフリストン郡及び同州スピタメン郡をそれぞれ訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された診療所建設プロジェクトの引渡し式に出席しました。

相木大使は各引渡し式の挨拶で、保健・医療は日・タジキスタン二国間協力における重要な分野であり、今回診療所が建設されたことによって、地域住民が安心して暮らせることを願う旨述べました。これに対して、アンバロム・ヤクビー ソグド州副知事、バホドウル・アクラムゾダ シャフリストン郡長、テムルジョン・ユモンゾダ スピタメン郡長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計447件、総額約3,670万ドルに上るプロジェクトが実施されています。



シャフリストン郡ブンジカト地区
ナヴケント村診療所

スピタメン郡ウルジャボエフ地区
ナヴァンダルソイ村診療所